

小論文テーマ一覧

国公立大学／一般入試／工学系統

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
秋田大・国際資源 国際資源(資源開発環境)(後)	和	文, 統	環	レアメタル生産の現状と課題を示す文と図表より、レアメタルのリサイクル技術を開発すべき理由などを書く。(500字)
秋田県立大・システム科学技術 建築環境システム(後) 経営システム工(後) 機械工(後) 知能メカトロニクス(後) 情報工(後)	和	文, 統	社, 自然, 教科	科学コミュニケーションにも科学が必要だと述べた文と図より、科学の問題に対する解決法などを書く。
秋田県立大・生物資源科 応用生物科(後)	和	文	自然, 教科	植物と動物の組織や器官レベルでの違いを説明する文より、現在わかっている違いについて説明などを行う。(420字)
	和	文, 統	経, 農	農産物価格は政府が売買をして調整しているという文と図より、米価安定のための政府の政策などを述べる。(240字)
山形大・工 機械システム工(後) 高分子・有機材料工(後) 建築・デザイン(後) 化学・バイオ工(応用化学・化学工学)(後) 化学・バイオ工(バイオ化学工学)(後) 情報・エレクトロニクス(情報・知能)(後) 情報・エレクトロニクス(電気・電子通信)(後)	和	文	人	自分のやりたいことで好奇心を養い最高に発揮してほしいという文より、大学で一番やりたいことなどを書く。(450字)
宇都宮大・工 基盤工(後)	和	課	環, 自己	持続可能な人間生活を営むにあたってエネルギーに関する課題を挙げ、解決への貢献について考えを述べる。(600字)
前橋工科大・工 建築・都市・環境工学群(建築都市プログラム)(中) 建築・都市・環境工学群(土木・環境プログラム)(中) 建築・都市・環境工学群(工学デザインプログラム)(中) 情報・生命工学群(情報システムプログラム)(中) 情報・生命工学群(医工学プログラム)(中) 情報・生命工学群(生物応用プログラム)(中)	和	文	人	統計のだまし方を知ることのできない力が養われるという文より、自身の出来事で真実と異なる例を書く。(940字)
埼玉大・工 応用化(前) 機械工学・システムデザイン(前) 電気電子物理工(前) 情報工(前) 環境社会デザイン(前)	和	課	科, 環	地球の平均気温が上昇し続けた場合に生活で想定される課題を挙げ、科学技術が貢献できることを述べる。(400字)
東京海洋大・海洋資源環境 海洋資源エネルギー(後)	和	文	科, 農	ホモ・サビエンスのニッチの獲得には漁法の発達が重要だったという文より、漁業が貢献した理由などを書く。(630字)
	和	統	農	日本における魚介類と肉類の消費量や摂取量などを示す図より、魚介類の消費量を増やす方策などを述べる。(750字)
富山大・工 工(電気電子工学)(後) 工(知能情報工学)(後) 工(機械工学)(後) 工(生命工学)(後) 工(応用化学)(後)	和	課	科, 自己	国際宇宙ステーションで行う宇宙の特殊な環境を利用した研究について、自身が行いたい研究を述べる。(800字)
香川大・創造工 創造工(後)	和	文	社, 科	地域や共同体の存続への議論が必要だという記事より、地域持続のための科学技術について考えなどを書く。(300字)
	和	文	科	AIの進化を認めて最新技術を学ぶべきだという文より、馴染みある技術分野の発展の動向と展望などを書く。(350字)
熊本大・工 土木建築(後)	和	課	社, 教科	条件に基づいて板材と角材を用いたテーブル1つとイス1つのデザインの図を描き、意図や工夫を述べる。(150字)
	和	文	社	与えられた文を読み、インフラ整備に関する意思決定において自身が重要だと考えることを述べる。(600字)
熊本県立大・環境共生 環境共生(居住環境学)(後)	和	課	社, 教育	住宅地において子どもの外遊びの場やそのきっかけを増やすための対策について、自身の考えを書く。(500字)
	和	統	環	日本の物質フローの変化を示す図より、今後の日本社会が持続可能な発展をするために必要な取り組みを書く。(600字)